



MIZUHO BOARD OF EDUCATION

みずほの教育

平成21年(2009) 10/1
第2号(年3回発行)

編集・発行：瑞穂町教育委員会
〒190-1221 瑞穂町大字箱根ヶ崎 2475
TEL 042-557-6682 FAX 042-557-2693
<http://www.town.mizuho.tokyo.jp/kyouiku/>

人と人が かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ



生の英語にドキドキ!!



▲瑞穂中学校で音楽の授業を体験

姉妹都市であるアメリカ モーガンヒル市に、昨年度初めて町内在住の中学生6名を派遣しました。

今年度は、7月11日(土)~17日(金)の7日間、モーガンヒル市から中学生8名と引率者2名を瑞穂町へ迎え入れました。

モーガンヒル市から派遣された中学生は、町内のホストファミリー宅にホームステイをし、瑞穂中学校、瑞穂第二中学校への体験入学も行い、日本の文化や生活習慣等を学びました。

また、だるまづくり等の体験活動を通して、町民の方との交流を深めました。

瑞穂町とモーガンヒル市との交流が盛んになるように、継続的に進めていきます。

集まれ!! こどもフェスティバル

平成21年度瑞穂町こどもフェスティバルを瑞穂ビューパーク・スカイホールで開催します。

こどもフェスティバルは、子どもの健全育成、親子のふれあい及び子どもと地域との交流の推進を目的に、ボランティア団体が多種多様なイベントを開催し、1日を楽しんでもらえるよう計画しています。

日時 10月18日(日) 午前9時30分開会
会場 ビューパーク競技場・スカイホール
テーマ 「子どもたちとのふれあい まずはあいさつから」
内容 縁日(輪投げ、クラフト等)
発表(新体操、ダンス等)
食育(焼きそば等)



▲去年のこどもフェスティバルの様子

※映画『崖の上のポニョ』を午後2時より上映します。

【問合せ 社会教育課 ☎557-6695】

みずほっ子目標

- み みずから学び 考えるひと
- ず すすんで社会とかかわる 心豊かなひと
- ほ ほがらか 明るく 元気なひと

児童・生徒数 (21.9.1 現在)

単位：人

一小	二小	三小	四小	五小	小学校計	瑞中	二中	中学校計	小・中学校合計
440	352	398	713	188	2,091	483	514	997	3,088



平成20年度「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」及び 平成21年度「瑞穂町学力調査」についての瑞穂町立小・中学校の結果報告

1 平成20年度「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」平成21年1月15日実施

小学校4年生、中学校1年生を対象に実施した「基礎的・基本的な事項に関する調査」と、小学校5年生、中学校2年生を対象に実施した「問題解決能力等に関する調査」の結果について報告します。

(1)「基礎的・基本的な事項に関する調査」○対象：小学校4年生、中学校1年生

調査結果（小4）

（平均正答率 %）

		国語	差	算数	差	合計	差
20年度	東京都	75.1	△-9.4	80.6	△-5.0	155.7	△-14.4
	瑞穂町	65.7		75.6		141.3	
19年度	東京都	84.8	-10.3	77.2	-10.2	162.0	-20.5
	瑞穂町	74.5		67.0		141.5	

調査結果（中1）

（平均正答率 %）

		国語	差	数学	差	合計	差
20年度	東京都	76.0	▼-5.8	59.6	△-9.1	135.6	▼-14.9
	瑞穂町	70.2		50.5		120.7	
19年度	東京都	82.6	-3.6	73.6	-10.0	156.2	-13.6
	瑞穂町	79.0		63.6		142.6	

△は、昨年度の都平均正答率との差が縮まったことを示します。
▼は、昨年度の都平均正答率との差が広がったことを示します。

分析結果

平成20年度の実施結果では、実施した教科において東京都の平均正答率を下回っており、小学校4年生では、国語で9.4ポイント、算数で5.0ポイント下回っています。また、中学校1年生では、国語で5.8ポイント、数学で9.1ポイント下回っています。

しかし、小学校は国語と算数の両方で、中学校は数学で、平成19年度の実施状況よりも東京都の平均正答率との差が少なくなっており、朝読書やドリル学習、繰り返し学習等、授業改善を行った指導上の成果といえます。

【小学校】

○国語 基本的な漢字の読み・書き、主語・述語の関係、作者の心情を理解し設問に合った解答をする力や文章を推敲する力に課題があります。読む力では、文章から場面を想像し表現する力などに課題があります。

○算数 掛け算や小数の引き算等の基礎的な計算力、引き算や掛け算の性質を用いたり、整数や計算の意味や物の重さを図ったり、図形を分別したりする力に課題があります。

◎漢字の書き取りをはじめ、本や新聞をしっかり読むこと、書かれている内容を要約して説明するなどの取り組みが必要です。算数は、家庭でのドリル等の繰り返し学習を通して、基礎的な力の定着を図る必要があります。

【中学校】

○国語 文脈に即して正しい漢字を書く力や文章から指示語の意味を読み取る力、相手の意図を考えながら内容を聞き取る力などに課題があります。

○数学 正負の和の計算、割合や比率等の理解、分配法則や結合法則、不等号、分数の除法・乗法の計算等に課題があります。三角形や六角形の内角の和や角度など、図形の基本的事項の定着等に課題があります。

◎日常的な学習において、教科書を読み、書き写すなどの基本的な取り組みが必要です。数学は、基礎的な内容の繰り返し学習を通して、法則や概念等を正確に理解し論理的に説明できる力を身に付ける必要があります。

(2)「問題解決能力等に関する調査」○対象：小学校5年生、中学校2年生

問題解決能力等に関する調査

（平均正答率 %）

		小学校5年生	差	中学校2年生	差
20年度	東京都	60.2	▼-12.0	69.2	▼-12.4
	瑞穂町	48.2		56.8	
19年度	東京都	59.8	-8.5	56.3	-9.5
	瑞穂町	51.3		46.8	



問題解決能力については、現実の生活の中で生じる教科横断的な問題に直面した場合に、問題を理解し、その解決に向けて見通しをもち、解決に必要な情報を収集・選択・分析したり、既存の知識・技能等を適用・応用させたりしながら思考・判断するといった一連の認識プロセスを用いて、問題に対処し、解決することができる能力ととらえています。

分析結果

- 問題解決能力は、いわゆる応用力といわれる内容です。能力としては、問題を発見する力、見通す力、適応・応用する力、意思決定する力、表現する力に分けられています。瑞穂町の状況は、東京都の平均正答率を小学校で 12.0 ポイント、中学校で 12.4 ポイント下回っています。しかし、問題を発見する力については、小・中学校ともに、都平均正答率との差が少なくなってきました。全体的には設問の意味を十分に読みとり既習事項を活用することに大きな課題があります。
- 問題解決能力は、学習したことを活用する力ですから、知識の活用方法を身に付けることが必要です。問題を解決するために必要な情報を資料から読みとったり分析したりすることや、身に付けた知識・技能等の何を活用して解答を導きだせばよいのかなどの学習を、日常の学習活動に位置付ける必要があります。

2 平成 21 年度「瑞穂町学力調査」平成 21 年 4 月 16 日（中学校）、28 日（小学校）実施

本年度は、小学校 2 年生～6 年生、中学校 1 年生～3 年生を対象に「瑞穂町学力調査」を実施しました。その結果について報告します。

(1) 小学校

調査結果

学年	教科	20 年度			21 年度		
		目標値	平均到達度 (瑞穂町)	差	目標値	平均到達度 (瑞穂町)	差
2 年生	国語	68.9	67.8	-1.1	69.3	67.3	- 2.0
	算数	76.7	86.0	9.3	76.5	84.3	7.8
3 年生	国語	73.9	73.3	-0.6	73.9	72.2	- 1.7
	算数	74.3	80.9	6.6	77.1	82.1	5.0
4 年生	国語	64.4	70.5	6.1	63.4	67.2	3.8
	算数	68.1	73.2	5.1	66.6	65.3	- 1.3
5 年生	国語	60.4	54.8	-5.6	61.3	63.1	1.8
	算数	65.5	60.2	-5.3	67.1	67.4	0.3
	理科				56.9	56.2	- 0.7
6 年生	国語				63.5	61.9	- 1.6
	算数				57.6	47.1	-10.5
	理科				58.7	58.4	- 0.3
	社会				58.6	54.2	- 4.4

目標値とは、この調査の達成状況として「おおむね満足できる状況」と判断される状況です。平均到達度は、本調査における瑞穂町の児童の平均点です。

分析結果

2 年生から 5 年生までは、目標値と到達度を比較すると、瑞穂町の到達度は、本調査全体の目標値「おおむね満足できる状況」を上回っているか近い状況にあります。しかし、6 年生では、すべての教科で、瑞穂町の到達度が目標値を下回っています。特に、算数では、10.5 ポイントと大幅に下回っています。低学年においては、おおむね良好な定着状況にありますが、学年が上がるに従って定着状況が思わしくない傾向にあることが明確化しています。各学年の既習事項の確実な定着を図るためにも丁寧な学習の積み重ねが必要です。

- 国語 書く力、読む力などの基本的な能力の定着に課題があります。書く力では、カタカナや漢字の読み書き、条件設定に基づいた短作文の作成等に課題があります。また、読む力では、文脈に即した内容理解や心情理解、



長文を読み取る力や指定された字数で文章をまとめて表現したりすることに課題があります。

- 算数** 算数の問題作りや掛け算を活用した問題、図形の性質やきまりに対する知識・理解に課題があります。特に、高学年になると面積の求め方や比例等に対する理解が不十分です。図形に関しては、定義や概念が正しく理解できていないことから抽象概念を論理的に組み立て、定義したり説明したりする力に課題があります。
- 理科** 理科は、科学的な思考力、観察・実験の技能・表現、自然事象についての知識・理解から構成されています。課題としては、観察・実験の技能・表現や自然事象についての知識・理解が不十分です。5年生では、水や空気の性質、乾電池の性質や電気回路にかかわる内容、星座や生物・植物の性質等にかかわる内容の知識・理解に課題があります。6年生では、食塩水の性質やてこの働き、気象状況、花のつくりなどについての理解に課題があります。
- 社会** 社会科は、社会的事象についての知識・理解、我が国の農業や水産業・工業、国土の自然についての知識・理解、資料活用能力等から構成されています。特に、日本の地形では、海流や山脈、気候などの地理的事象に対する理解が不十分です。さらに、日本の農業、工業等の特色等に対する基本的な知識・理解とともに、資料等から現状を分析し課題や理由等を思考するなどの資料を活用・分析する力に課題があります。
- ◎**学習の基本は「読み」「書き」「計算」**です。学力調査全体を通して分かることは、文章の内容を読み取る力が不十分であるということです。漢字の書き取り、本を読み書かれていることをまとめる、人に伝えるなどを通して、概要をつかみ筋道を立てて考えるなどの力が身に付きます。また、算数の計算や問題は繰り返し学習することで定着します。時間をかけて丁寧に学習することが大切です。さらに、理科や社会等で学習したことについての理解を深めるためにも、ニュースを見たり社会的な事項や事件等について家族で話し合ったり、体験をしたりする機会を作るなどの取り組みが、学習内容を実生活へ結びつけることにつながり知識となります。

(2) 中学校

学年	教科	20年度			21年度		
		目標値	平均到達度 (瑞穂町)	差	目標値	平均到達度 (瑞穂町)	差
1年生	国語	56.1	56.9	0.8	64.8	63.2	- 1.6
	数学	58.8	54.4	-4.4	59.0	60.6	1.6
	理科	60.0	66.6	6.6	60.0	71.0	11.0
	社会	52.7	52.4	-0.3	56.1	57.4	1.3
2年生	国語	62.4	58.0	-4.4	62.3	64.9	2.6
	数学	46.1	41.5	-4.6	53.0	53.9	0.9
	理科	48.2	41.2	-7.0	50.0	38.0	-12.0
	社会	50.0	41.0	-9.0	51.1	40.1	-11.0
	英語	59.3	56.4	-2.9	56.9	52.7	- 4.2
3年生	国語				63.3	60.8	- 2.5
	数学				52.8	45.6	- 7.2
	理科				48.0	45.5	- 2.5
	社会				47.9	37.5	-10.4
	英語				61.4	54.7	- 6.7

目標値とは、この調査の達成状況として「おおむね満足できる状況」と判断される状況です。平均到達度は、本調査における瑞穂町の生徒の平均点です。

分析結果

1年生では、国語以外の教科すべてが「おおむね満足できる状況」です。特に、理科では、平均到達度が本調査全体の目標値より10ポイント以上上回っています。2年生では、国語と数学で、昨年度より改善が見られます。しかし、他教科については、目標値を下回っており、理科と社会は目標値より10ポイント以上下回っています。



3年生では、すべての教科において目標値を下回るとともに、数学・社会・英語は、目標値より5ポイント以上下回っています。

○**国語** 書く力、読む力などの基本的な能力の定着に課題があります。特に、書く力は、漢字の読み書き、条件設定に基づいた文章作成力等に課題があります。また、読む力は、文脈に即した内容の理解や心情の理解、さらに、長文を読み文節に書かれた内容理解を通して、指定された字数で内容をまとめたりする力に課題があります。言語についての知識・理解は、基本的な文法理解に課題があります。

○**数学** 分数の計算や平均の求め方、具体的な事項から一次方程式を作る問題、きまりや法則に従って考えたり、答えを導き出したりする問題、図形の面積を求める問題等に課題があります。

数量では、分数や一次方程式、文字式、等式、多項式等の解き方が定着していません。さらに、道のりや比例・反比例のグラフ、一次関数等に関する内容等の定着に課題があります。図形では、定理や内角の和、三角形の合同などの定着に課題があります。文章問題等も不得意です。

○**理科** 植物の仲間、受粉等にかかわる内容、電気回路・電流や電気の性質、物の燃焼や中和、水溶液等にかかわる内容、岩石や火山灰、地層等にかかわる地学的な内容、生物と環境等にかかわる内容についての科学的思考や知識・理解等について課題があります。

○**社会** 地理的分野の知識・理解に課題があります。地形、名称、工業・農業の特徴など、小学校で既習事項の定着が不十分です。日本と世界の状況に対する内容の正しい理解、資料から問題を読み取る力に課題があります。歴史的分野については、歴史上の人物と建造物の関係や各時代の文化の特色、及び制度等に対する知識・理解に課題があります。

○**英語** 単語や文型についての知識・理解、英文の読解問題、文章の並び替え、会話文の読解問題等について課題があります。英語の基本である単語や文型の理解が不十分です。単語の意味理解が不十分なために、文章の内容等が読み取れないという課題があります。

◎小学校での学習内容の定着が最も重要です。言語力の基本である漢字の書き取りに毎日取り組むことや教科書は声を出して読むとともに書き写すことが大切です。読書をし、本の内容をまとめ人に伝えたりすることなどの取り組みを通して、読み書きの力とともに、概要を論理的に組み立てることのできる力が身に付きます。英語では、単語や文型の理解を図るためにも、教科書を声を出して読むことや書き写すことを通して、基礎的な内容の定着を図ることが大切です。また、理数系は、基本的な計算力と定理や原則、基本用語についての知識・理解が重要です。繰り返し学習することで定着します。社会については暗記も必要ですが、時代背景と併せて理解することや世界史との関係性の理解を通して、より深い知識・理解が必要です。学校で学習したことを身に付けるためにも、毎日の家庭学習は必修事項ですが、新聞を読むことやニュース見ることを通して、日常生活での出来事に関心をもつことも重要です。学習は手間がかかるものです。時間をかけて、繰り返し丁寧に学習することが何よりも大切です。

3 課題改善に向けての取り組み

教育委員会では、これまでも学力調査等の結果に基づき、学校とともに学力向上に向けた取り組みを実施してきました。しかし、教育委員会と学校だけの取り組みでは、基礎的・基本的な学力の定着はできません。学習意欲の向上や基礎的・基本的な学力の定着には、家庭の協力が重要です。「学校で習ったことを家庭で復習する」「一緒に宿題をやる。終わったら見て確認する」「学校で習ったことを子どもが質問したら、保護者も一緒になって考える、調べてみる」「よくできたらほめる」「できないことについては、励まし、最後までやり遂げさせる」など、保護者が子どもの学習に関心をもち、一緒に取り組んだり、支援したりすることで、子どもは学習への意欲と継続する力を身に付けます。そのことが、子どもたちの基礎的・基本的な学力の定着に最も必要なことです。

学力は、将来社会で生きていく上で、自己実現を図るために必要な力です。学力とは、知識を身に付けるとともに、学習を通して、「努力すること」「継続して取り組むこと」「最後までやり抜くこと」「人の話をしっかり聞くこと」「人のよさや自分のよさを知ること」など、人としてよりよく生きるための基本的な資質・能力も含まれます。

今後も、教育委員会、学校、家庭が協力して、子どもたちが自己の夢や希望の実現を図るために必要な確かな学力を身に付けられるよう、取り組んでいく必要があります。



(1) 教育委員会の取り組み

教育委員会では、都・町の学力調査の結果分析に基づいて、町の児童・生徒の学力向上に向けた施策を実施しています。

- 学力についての実態把握：町独自の学力調査
- 学習サポーターの配置（小学校1～3年生、中学校1年生）
- 漢字力の向上：漢字検定の実施（小学校3年生・5年生、中学校1～3年生）
- 地理的環境力の向上：日本地図（小学校2年生～6年生）、世界地図（小学校5年生、6年生）の教室掲示
- 言語力の向上：国語辞典の全学級配置（小学校2年生以上）・朝読書の推進・読書活動の充実
- 授業改善に向けての取り組み：学力調査の分析結果に基づいた、学力向上計画並びに授業改善推進プランの作成、授業改善推進プランの実施状況に向けての実施状況調査・評価
- 校内研修の充実・支援
- ICTの活用・推進
- 学習支援アドバイザーによる指導力向上に向けての指導・助言活動 等

(2) 学校の取り組み

各学校では、学力調査の結果分析に基づいた授業改善等に向け、教育委員会の施策の実施や学校独自の様々な取り組みを実施しています。

- 学力調査の分析と分析に基づいた学力向上計画の作成（管理職）
- 学校評価の実施
- 学力向上計画に基づいた授業改善推進プランの作成
- 言語力の向上に向けた取り組み
- 授業改善推進プランに基づいた授業改善の実施
- 校内研究活動と授業研究の推進
- 漢字力向上に向けての取り組み
- 読書活動の推進（朝読書・読書週間等）
- 校内算数検定
- 朝学習の実施（漢字の書き取り、計算練習）
- 補習授業の推進 等

(3) 家庭の取り組み

各家庭においては、学校での学習活動が定着するように、その日に習ったことを復習する習慣を身に付けさせることが大切です。

小学生では、宿題が出されていれば、その宿題に必ず取り組ませることが大切です。また、宿題が出されていない場合は、保護者が学校で習ったことをおさらいするように声かけをしてください。そのことを通して、家庭学習が習慣化されるとともに、基礎的・基本的な学力の定着並びに、学習に対する意欲や自信をはぐくみ、学習に対する様々な資質・能力の定着と向上につながります。お子さんと一緒に、学習する時間を積極的に作ってください。

- 宿題をする。
- 教科書の文章を書き写す、声を出して読む。
- 読書をする。
- 漢字の書き取りをする。
- 算数・数学の計算問題に取り組む。
- 分からないことについては子どもと一緒に考えたり、調べたりする。

中学生では、家庭で勉強をしなさいというよりも、学習環境等を整えたり、支援したりすることが大切です。また、お子さんと一緒に将来の夢や希望、職業等について考えたりすることも重要です。そして、実現に向けてはどのようにしたらよいかを保護者が助言したり支援したりすることが、意欲的に学習に取り組むことにつながります。子どもの将来には無限の可能性が広がっています。子どもの自尊心を醸成しながらも、人生の先輩として子どもを信頼し支援してください。

家庭学習の時間は、学年×10分以上、中学生になったら、プラス30分以上が目安です。

- 1年生 10分
- 2年生 20分
- 3年生 30分
- 4年生 40分
- 5年生 50分
- 6年生 60分
- 中学1年生 90分以上
- 2・3年生 120分以上

【問合せ 学校指導課 ☎557-7086】

教育委員の紹介

教育委員会委員
吉岡 康さんが9月
30日をもって退
任され、その後任
として、森田 義男
さんが町議会の同意を得て10月
1日から就任されました。



高等学校等入学時奨学金について

瑞穂町では、経済的理由で高等学校等に入学することが困難な方に、奨学金を支給しています。

申請書は、11月中に在学している中学校を通じて配布します。また、町立中学校以外の学校に在学している方については、直接、郵送にて申請書をお送りします。

11月末までに申請書がお手元に届かない場合は、お手数ですがご連絡くださるようお願いいたします。 【問合せ 教育総務課 ☎557-6683】



社会教育課

委員会の紹介 青少年委員

青少年委員は、青少年の社会教育活動の活性化を図るため、各地区から選出され、教育委員会から非常勤公務員として委嘱されています。委員は13名で、任期は2年です。

青少年委員の役割は、地域の青少年団体や学校など関係機関との連携、調整を行う（地域と学校や行政等とのパイプ役）ほか、青少年活動の支援や各種の相談活動、青少年団体の交流促進等、地域の青少年教育のコーディネーター、指導者として活動しています。

主な事業は、子どもリーダー宿泊研修会、さくらまつり・産業まつりなどの子どもの集い、小・中高生や指導者を対象としたリーダー養成事業を実施しています。

多摩・島しょ子ども体験塾市町村助成事業

みずほ青少年小笠原探検隊

大自然の宝庫「小笠原村父島」を、20人の子どもたちが探検してきました。

7月27日（月）～8月1日（土）の5泊6日で、小笠原の人々との交流やウミガメの生態学習、戦跡見学やシーカヤックなど、さまざまな体験をし、心も体も大きく成長して帰ってきました。

この様子は、10月18日（日）のこどもフェスティバルで、隊員によるスライドを交えた発表会や写真展示が行われます。



▲現地の小・中高生とフラダンスによる交流



▲海洋センターでウミガメの甲羅の掃除を体験



瑞穂町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会

「総合型地域スポーツクラブ」とは、子どもから高齢者、ハンディキャップのある方も、性別や世代・年齢などにかかわらず参加でき、複数のスポーツ種目を楽しむことができる会員制のクラブです。クラブでは活動拠点となるスポーツ施設を持ち、定期的・継続的なスポーツ活動を行うことができます。また、スポーツ活動だけでなく、文化活動なども行います。

現在、準備委員会を立ち上げ、先進地視察や講習会を通し、瑞穂町にふさわしいクラブの在り方を探りながら、平成22年度の設立に向け、準備を進めています。

準備委員会の構成：「社会教育委員代表1名、体育指導委員16名、体育協会常任理事16名、町内会連合会役員9名、青少年委員代表1名、PTA代表1名、学校長代表1名、公募7名」の合計52名

【問合せ 社会教育係 ☎557-6695 社会体育係 ☎557-7071】

図書館（瑞穂町図書館・元狭山ふるさと思い出館図書室・長岡図書室・武蔵野コミュニティセンター図書室・殿ヶ谷図書室）

第1回瑞穂町図書館協議会が開催されました。

7月に瑞穂町図書館協議会が設置されました。

この協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに図書館が行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる機関です。

去る7月14日（火）に第1回瑞穂町図書館協議会が開催されました。図書館運営や子ども読書活動の推進などについて、今後、協議していきます。

瑞穂町図書館協議会委員（敬称略）

【問合せ 図書館 ☎557-5614】

氏井初枝	上原富明	堀池佳子	滝澤福一
志村真由美	関谷初世	◎関谷忠	○平山トモ子

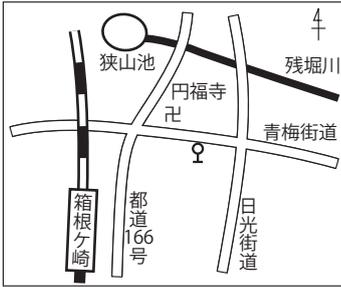


◎…会長 ○…副会長



郷土資料館

～ 瑞穂町にある文化財めぐり 第1回～



<所在地 箱根ヶ崎 132 番地 円福寺内>

しほんちやくしよくかんしんじっかいず
紙本着色観心十界図

(東京都指定有形民俗文化財)

臨済宗建長寺派・北小山円福寺に古くから伝わる宝物のひとつ。

図は別名「地獄極楽之図」ともよばれており、人が生まれてきて成人し、やがて老人となる人生の移り変わりを示した部分が上部に描かれている。その下方には、人が生まれ変わって地獄・餓鬼・畜生の三悪道と阿修羅・人間・天上を加えた六道（六界）を輪廻して行く部分、そして声聞・縁覚・菩薩・如来の悟界を描いている。

詳しく見ると、上半部は円内に書かれた「心」の一字を中心とし、前に三具足と飯器を供え、風に翻る幡一對を立てた卓を据え、卓前には法要を営む 12 名の僧、右側には雲上に立つ仏、菩薩各一と、礼拝する夫婦、子息等、左側には亡者を裁く閻魔王と飛天 2、後方に阿弥陀仏と四菩薩、その左右には座具に坐す比丘各一（声聞・縁覚か）を描き、それらの上には大半円弧があり、下方には飯器に釘を打つ鬼や戦闘する甲冑の武士、動物等を描く。

この一幅は、諸国を巡歴して熊野信仰を広めていた熊野比丘尼の「絵解き」用具として作られたといわれ、諸人、特に女性に勧善懲悪を説くために使われたと推察されている。

大きさは、画面が縦 140.6cm、横 127.6cm、製作年代は中世末から近世初期と推定されている。文献資料によって、近世中期まで江戸やその周辺に熊野比丘尼が遊行していたことは明らかであるが、本図はその態様を示す希少な民俗資料として東京都から平成元年 3 月 24 日に指定を受けている。

この文化財は、2 月 15 日（釈迦の入滅した日）に公開予定となっています。

【問合せ 郷土資料館 ☎568-0634】

小・中学校の主な行事等予定 10月～1月

- 詳しくは、各校へお問い合わせください。
- 全小・中学校
 - 小中音楽会(スカイホール)10月22日(木)
 - 終業式(2学期)12月25日(金)
 - 始業式(3学期)1月8日(金)
 - 東京都学力調査1月15日(金)
 - 瑞穂第一小学校(☎557-0045)
 - 10月3日(土)運動会
 - 11月6日(金)～7日(土)学芸会
 - 11月28日(土)道徳授業地区公開講座

- 瑞穂第二小学校(☎557-0646)
 - 10月30日(金)～31日(土)学芸会
 - 1月29日(金)～30日(土)作品展
- 瑞穂第三小学校(☎557-0266)
 - 10月3日(土)運動会
 - 11月8日(日)～9日(月)展覧会
- 瑞穂第四小学校(☎557-4143)
 - 10月3日(土)運動会
 - 10月17日(土)道徳授業地区公開講座
 - 11月13日(金)～14日(土)学習発表会

- 瑞穂第五小学校(☎556-1377)
 - 11月3日(祝)学習発表会
- 瑞穂中学校(☎557-0070)
 - 10月16日(金)合唱コンクール
 - 11月11日(水)道徳授業地区公開講座
- 瑞穂第二中学校(☎557-5501)
 - 10月21日(水)合唱コンクール
 - 1月9日(土)道徳授業地区公開講座

教育委員会定例会・臨時会報告

6月から8月までに定例会を3回、8月に臨時会を1回開催しました。主な議決事項と報告事項は、次のとおりです。

<主な議決事項>

- ・瑞穂町文化賞表彰要綱
- ・瑞穂町スポーツ賞表彰要綱
- ・瑞穂町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検

- 及び評価有識者の委嘱について
- ・瑞穂町図書館協議会委員の委嘱について
 - ・平成22年度使用小・中学校、小・中学校特別支援学級教科用図書について

<主な報告事項>

- ・瑞穂町私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金交付要綱について

教育委員会の会議は、毎月1回(原則として、第4木曜日)開催し、傍聴することができます。(非公開の事項を除きます)

会議はスカイホール会議室で行われ、日時は広報みずほに掲載されます。また、ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。【問合せ 教育総務課 ☎557-6682】